

本ワークショップでの Slackの使い方マニュアル ～イベントの導入部分での使い方紹介～

Hack U Project

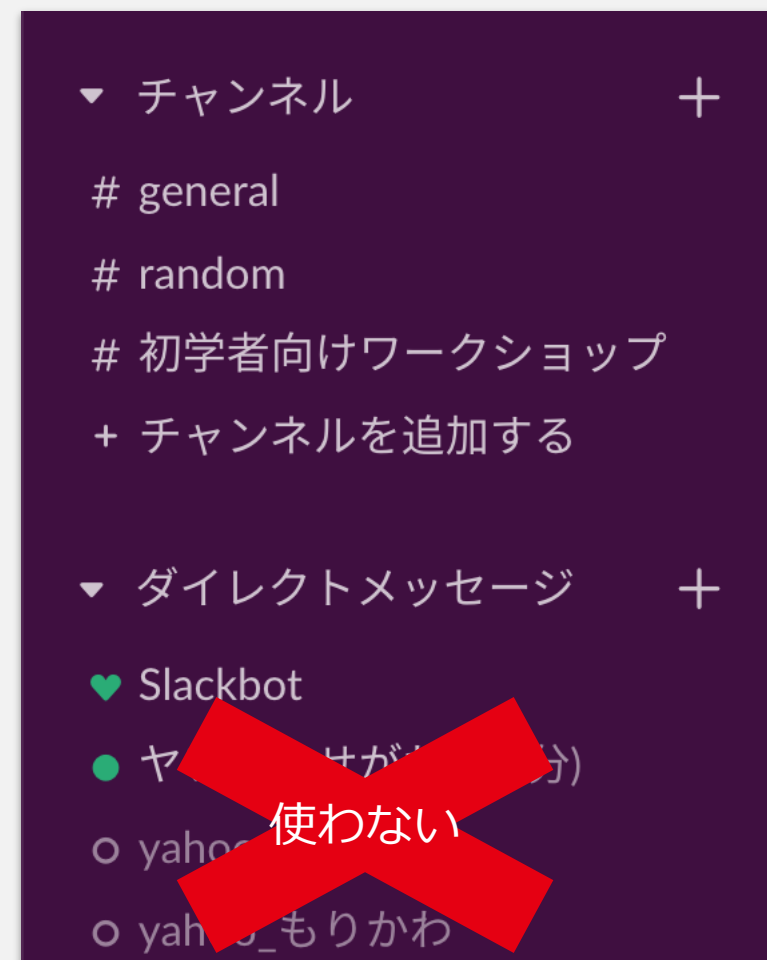
本マニュアルの流れ

1. 本イベントでのSlackチャンネルの使い方
2. Slackに書き込んでみよう！
3. 投稿にリアクションしてみよう！
4. サポーターへの質問のしかた

本イベントでのSlackチャンネルの使い方

注意!!

- **ダイレクトメッセージ(DM)**は基本使いません。
 - トラブルを避けるため、**参加者間のDMは禁止**とさせていただきます。
 - **サポーターへのDMも禁止**です
 - **自分へのDM**はSlackへの書き込みのテストなどで使って**大丈夫**です。



Slackに書き込んでみよう！

- #初学者向けワークショップ部屋にて自己紹介してみよう!!
 - 名前と簡単な自己紹介
 - 今日の意気込みなどもぜひ教えてください！

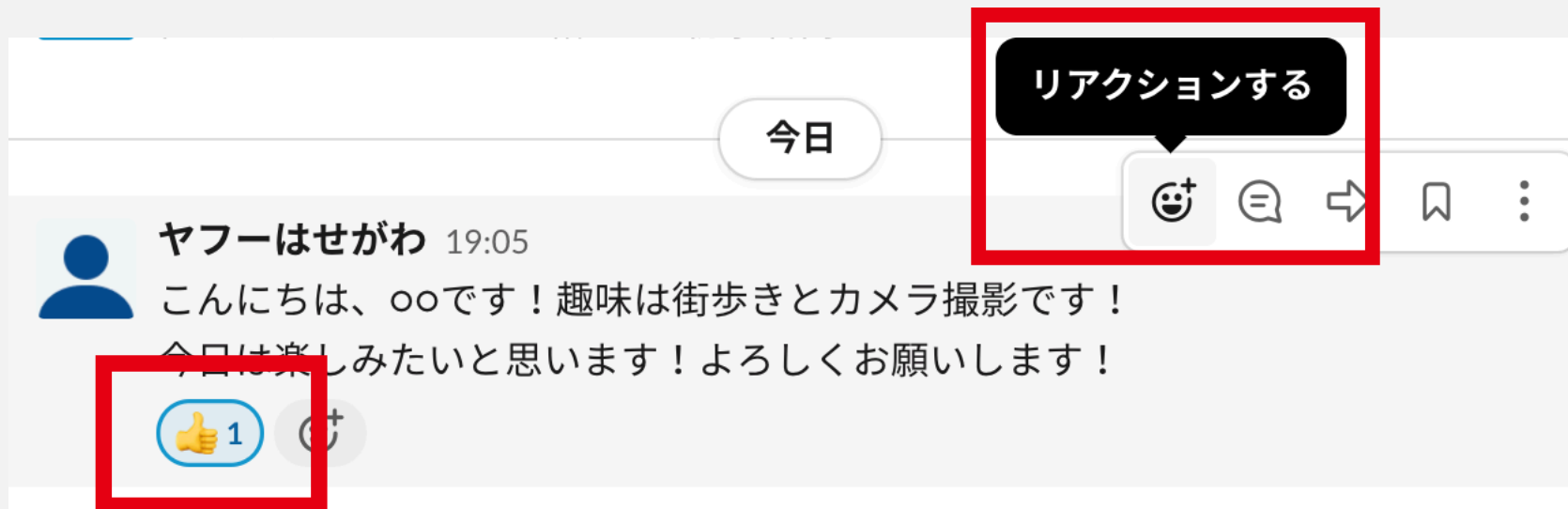
私は〇〇です。私の趣味は××です。よろしくお願いします！



⌘ + Return で送信、 Return で改行

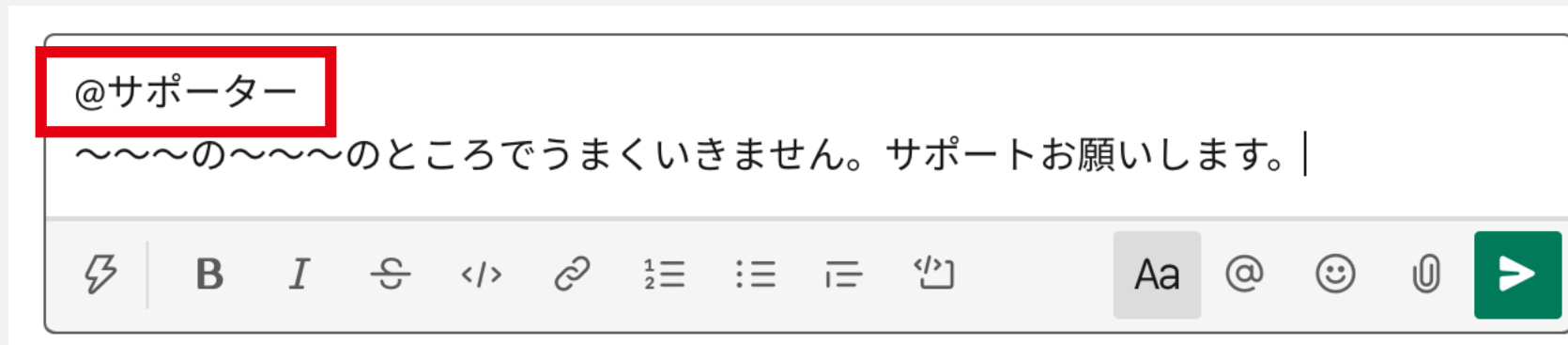
投稿にリアクションしてみよう！

- 他の人の投稿に対してリアクションしてみよう！
- それぞれの**投稿の右のメニュー**からリアクションを選ぶことができます。
- （似たような趣味や意気込みの人はいましたか??）
- イベントの中でも進捗のチェックにリアクションを使います











サポーターへの質問のしかた

- イベント中、わからないところや聞きたいことが出てくるとおもいます。
- そういったときは**どんどんサポーターに質問**をしてください。
- サポーターに質問をするときは、他の投稿と区別をするために投稿の先頭に「**@サポーター**」 とつけて投稿をしてください



@サポーター

~~~の~~~のところであまりいきません。サポートお願いします。|

⚡ B I      @   

# 便利なSlackの使い方

コードの中身について質問するときに便利なのが、**スニペット機能**です。

投稿する際に**クリップマーク**から、「**新規作成**」->「**コードまたは...**」を選ぶと**コードの共有**に便利な**スニペット**を利用することができます。

質問の際は利用してみてくださいね。

